

取扱説明書

ライブポート・ライブポート1500
ルネスポート

このたびは、東洋エクステリア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

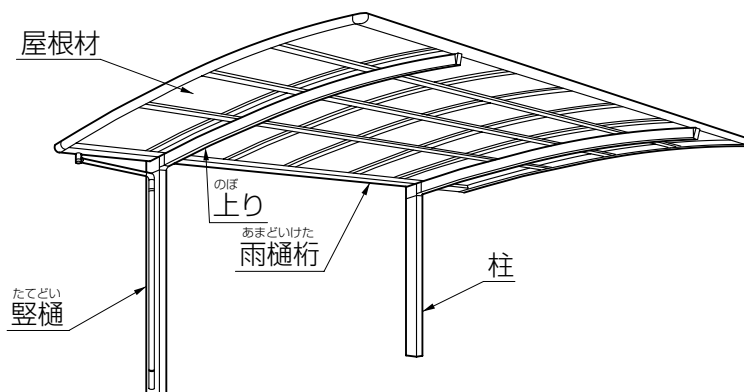
もくじ

1.各部の名称	1
2.安全のために必ず守ってください	2
3.積雪や風に対する仕様について	3
4.お手入れについて	5
5.修理	6
6.別売り品	6

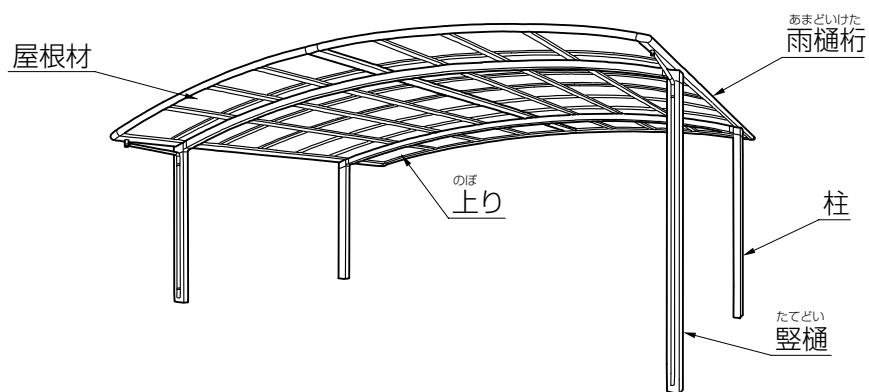
- 製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

1 各部の名称

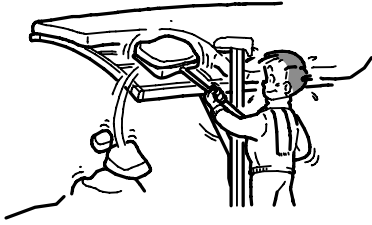
(1) 片側支柱タイプ



(2) 両側支柱タイプ



2 安全のために必ず守ってください



- 降雪時には雪おろしが必要です。屋根が雪の重さでつぶれ落ちる危険があります。

雪おろしの指示は各種カーポートによって異なります。柱に貼付けられている、雪おろし注意シールに従って雪をおろしてください。ただし、雪質によっては、注意シールの指示よりも少ない積雪で雪おろしが必要になる場合もあります。次ページの表の指示に従ってください。

- 雪おろしの際に、屋根材を損傷するおそれのある器具や、鉄製のスコップ等は使用しないでください。

- 絶対に屋根に乗ったり、ぶらさがったりしないでください。転落のおそれがあります。

- 屋根に物を載せたり、はしごのような重いものを立てかけたりしないでください。製品が破損するおそれがあります。

- 製品のまわりを囲わないでください。風が通り抜けなくなり、風による製品破損のおそれがあります。

- 屋根材やサイドパネルに、殺虫剤やガラスクリーナー等をかけないでください。ヒビ割れや劣化のおそれがあります。

- カーポートに頭などをぶつけないようご注意ください。けがをする危険があります。

- カーポートは一般住宅用簡易型車庫です。物置、遊び場あるいは住居の一部等への転用およびそれを目的とした改造、変更はしないでください。



3 積雪や風に対する仕様について

積雪に対する仕様

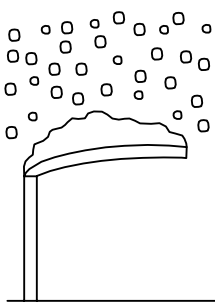
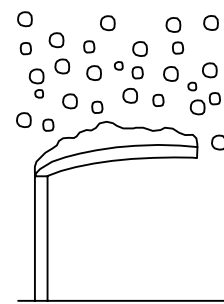
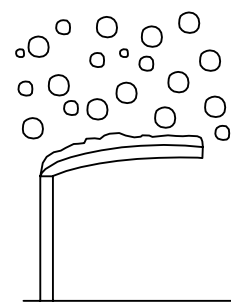
■ 積雪に対する強さ

- 本製品は、下表の荷重に耐えられる設計になっています。
- この性能は当社で指定する施工指示(基礎の大きさ等)どおりに施工された場合に限りです。
- 設置する地域による積雪量の違いを想定し強度を分類して設計しています。
- 製品により強度が異なりますので設置されている製品を下表で確認してください。

■ 積雪に対する注意

※製品破壊に注意・・・・・・・・

- 表の積雪量になる前に、必ず雪下ろしをしてください。
- 雪の重さは雪の状態によって大きく変化します。特に春先の雪は新雪に比べ重くなります。
- 表の積雪量の目安よりも早めに雪下ろしをしてください。
- 雪下ろしの際、雪はできるだけ残さないようにしてください。残った雪が氷状になりたいへん重くなります。
- 雪下ろしの際、絶対に水をかけないでください。雪が氷状になり、さらに重くなります。
- 雪下ろしの際、金属製スコップ等を使用すると屋根材が割れたり傷ついたりする原因になります。プラスチック製スコップ等で静かに行なってください。

雪の種類		
新雪	しまりゆき 締雪	ざらめゆき 粗目雪
<ul style="list-style-type: none"> ・新しく降った粉状の雪 <p>雪比重 0.3</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・水分を含んだやや重い雪。 ・降り積もって圧縮された雪。 <p>雪比重 0.5</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・水分を含んで凍っていて粒の大きな雪。 <p>雪比重 0.7</p> 

耐積雪荷重	製品名	安心してお使いいただける積雪量の目安		
		新雪	しまりゆき 締雪	ざらめゆき 粗目雪
600N/m ² (61.2Kg/m ²)	ライブポート ルネサポート	20cm	12cm	8cm
1500N/m ² (153.0Kg/m ²)	ライブポート1500	50cm	30cm	21cm

※「日本雪氷学会の分類名称」による。

■ 片側支柱タイプの場合

- 雪の重さ(積雪量および雪比重)による破損の不安が予想される場合は、サポートを立てて製品の補強をしてください。
- ※サポートを購入する場合は、お買い求めの工務店・販売店、または東洋エクステリア各支店・営業所へご連絡ください。

風に対する仕様

■ 風に対する強さ

- 本製品は、下表の風圧荷重に耐えられる設計になっています。
- この性能は当社で指定する施工指示(基礎の大きさ等)どおりに施工された場合に限りです。

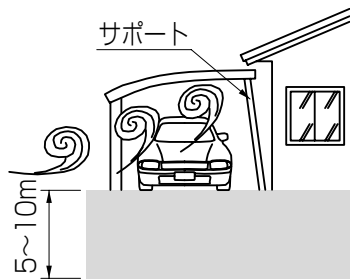
製品名	風圧荷重	風速の目安
ルネサポート	600N/m ² (61.2Kg/m ²)	30m/秒 相当
ライブサポート ライブサポート1500	1030N/m ² (105.1Kg/m ²)	41m/秒 相当

- 本製品は 1階に取り付ける設計になっています。
- 風速は設置する環境(地域・場所・風向き)により異なります。

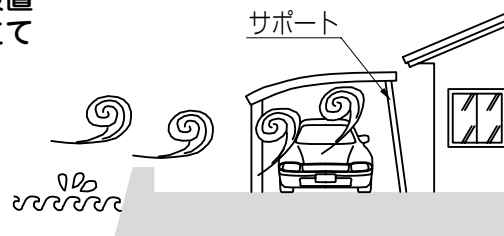
■ 風に対する注意

※製品破壊に注意・・・・・・・・

- 日ごろ風当たりの強い場所に設置した場合は、サポートを常時立てておいてください。



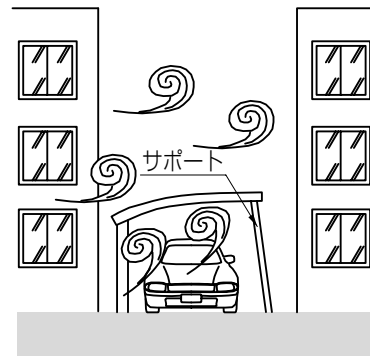
【高台・がけ際の場合(高さ5~10m)】



【海岸沿いの場合】

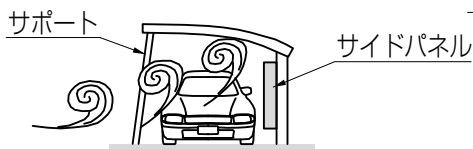


【田畑・野原など風をさえぎる物がない平地の場合】

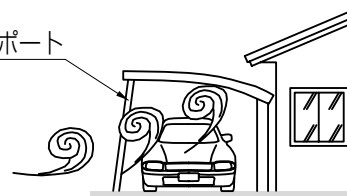


【風の通り道に設置した場合】

- サイドパネルや建物により柱側に風が抜けなくなる場合は、サポートを常時立てておいてください。



【サイドパネルを取り付けた場合】



【建物側に柱を取り付けた場合】

- 上記のような環境でサポートが取り付けられていない場合または風による破損の不安(あおり等)が予想される場合は、サポート(別途有償品)を取り付けてください。

※サポートを購入する場合は、お買い求めの工務店・販売店、または東洋エクステリア各支店・営業所へご連絡ください。

4 お手入れについて

(1) 年に2～3回水洗いをし拭き取ってください

- 汚れがひどい場合には、中性洗剤をうすめた液で汚れを落とした後、洗剤が残らないようによく水洗いをしてください。
- 酸性・アルカリ性・塩素系薬品や、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。塗料がはげたり、屋根材が変質したりするおそれがあります。
- 金属製ブラシ・金ペラ等は使用しないでください。塗装がはげたり、腐食の原因となります。

(2) キズは補修してください

- あやまってキズをつけた場合、弊社純正補修塗料で補修してください。放置すると腐食の原因となります。

(3) 樋にたまった落ち葉やほこりは、定期的に取り除いてください

- 樋がつまると、雨水が雨樋からあふれ落ちます。雨樋に溜まった水の重さで樋が変形したり、破損したりするおそれがあります。

(4) ネジやボルト類のゆるみがないか、定期的(年1回程度)に点検し、締め直してください

- ネジやボルトがゆるむと、所定の強度が保てなくなり、製品が破損するおそれがあります。

5 修理

製品に異常が生じたときは、施工店または、東洋エクステリア「お客様相談室」にご連絡ください。
修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく
製品名	製品にシール表示してある製品名
施工日	年 月 日
ご氏名	
ご住所	
電話番号	
道 順	付近の目印などもお知らせください

6 別売り品

下記のような別売り品がありますので、目的に合わせてご利用ください。

- サポートセット
積雪時や強風時に片側支柱タイプには有効ですので取付けをお勧めします。
- サイドパネルセット
- 竿掛けセット
- 補修塗料

—お客様相談室—
☎0120-171-705

東洋エクステリア株式会社

取説コード
UZ065

200002A
200303C_1001